

# 1 Seg Station 3548A

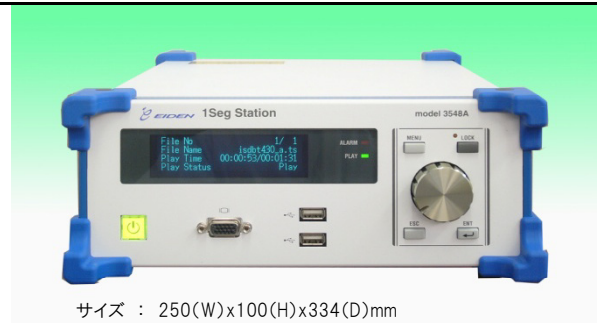
## (エリアワンセグ放送用信号発生器)



### 概要

本装置は、エリアワンセグ放送にご利用いただける小型のデジタルTV信号発生器です。

標準でHDD内蔵のTS発生器とISDB-T変調器を搭載しておりますので、本装置のみでイベント会場、大型商業施設など限定された地域での、映像・音声・データ放送の配信が省スペース・低コストで可能です。



サイズ : 250(W)x100(H)x334(D)mm  
(突起物を除く本体サイズ)

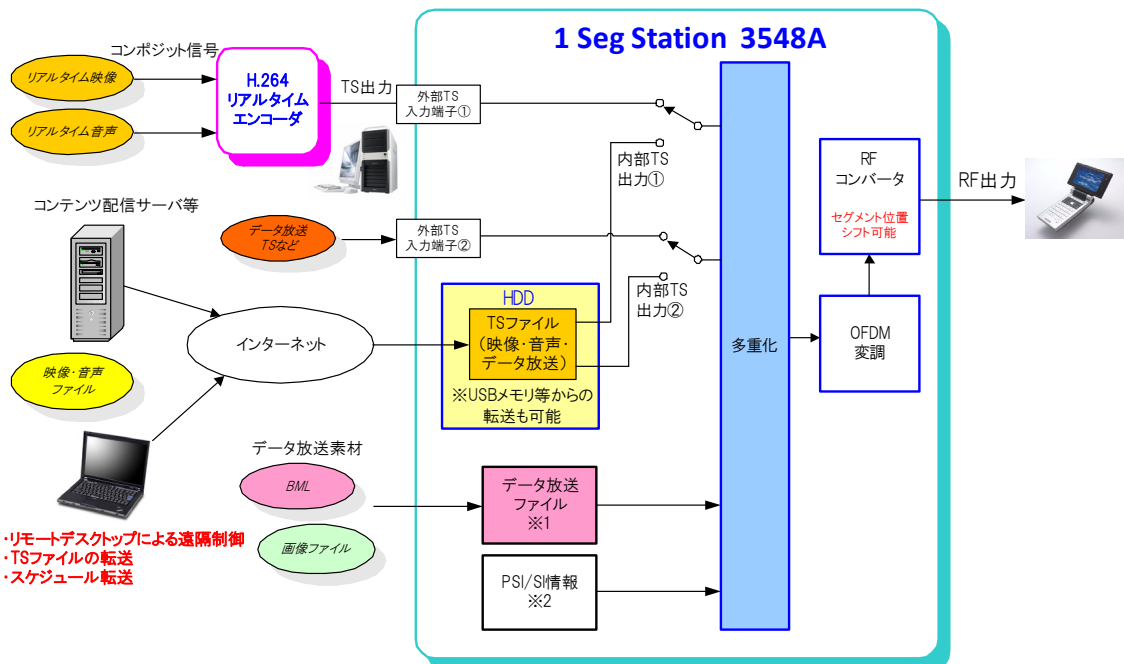
付属品 : ACアダプタ……………1

取扱説明書……………1

電源 : 入力電圧許容範囲 : AC90V~AC250V(50Hz/60Hz)

### 特長

- 出力チャンネルは以下の設定が可能です。  
A:チャンネル設定  
VHF:1~12ch, UHF:13~62ch, CATV:C13~C63chの任意の1ch内の部分受信帯域。(サブチャンネルは、0~41chより選択可能です)  
B:周波数設定 I  
142.9571kHz(1/7MHz)ステップ (90.1428571MHz~770.1428571MHzの周波数範囲内)  
C:周波数設定 II  
125.0000kHz(1/8MHz)ステップ (90.0000MHz~770.0000MHzの周波数範囲内)  
※上記設定において、±1/14MHzの範囲で0.1Hzステップによる周波数をシフトすることができます。
- 出力レベル範囲:-40dBm~+10dBm(0.5dBステップ可変)
- Ethernetを介して、本装置を制御することができます(リモートデスクトップ)。またコンテンツを本装置内のHDDに転送することができます。
- コンテンツのスケジュール再生が可能です。スケジュール再生により、日付、曜日毎にお好きなコンテンツを配信することができます。
- 専用のパケタイザ装置と組み合わせることにより、データ放送パケットの多重が可能です。パケタイザからリアルタイムにEthernetを介して転送されたTSの多重ができます。また、パケタイザでオフライン作成されたTSファイルの多重もできます。
- TS入力は、MPEG2-TS、放送TS(ワンセグ部分のTSのみ有効)に対応しています。通常の1+12セグメントコンテンツからワンセグ部分のみを抜き出してコンテンツ配信することも可能です。
- オプションで、内蔵HDDをより信頼性の高いSSD(Solid State Drive)に変更することができます。
- 緊急放送再生のための接点入力端子を用意しており、この接点を閉じることで、予め本装置の内蔵HDDに用意しておいた緊急放送コンテンツなどを再生することができます。
- 変調波は、1セグメント帯域と13セグメント帯域(1+12セグメント)を切り替えることができます。ただし、12セグメントはダミーデータとなります。



※1 JPEG, BMLファイルなどをセットすることで、カラーセル化してTS出力します。

※2 各種ID、放送局名、番組名等を入力することにより、自動的にテーブル(PMT, NIT, BIT, SDT, EIT, TOT)を生成します。